

# こんにちは！「篠路まちづくりテラス和氣藍々」です

篠路まちづくりテラス和氣藍々 いしもと よりこ 石本 依子

いつも誰かに会える、どんな人にも誰にでも役割がある、やりたいことがかなえられる場所。地域のみんなの居場所になりたい。「篠路まちづくりテラス和氣藍々」はそんな思いがあふれるコミュニティカフェです。手打ちうどんを始めとしたランチやケーキなど、手作りのメニューを用意しています。



### ■和氣藍々誕生物語

4年前のある日、篠路コミュニティセンター（以下「コミセン」という。）で開催している「きずなサロン」の中で、鉄道高架や区画整理、道路の拡幅などの公共事業によって、篠路のまちがこれから大きく変わっていくということが話題になりました。

「10年後にはどんなまちになっているのだろう？」「知らないうちに見慣れたまちが変わっていくのはなんだかさみしい気がするね」「自分たちの思いを少しでも反映させたまちにしていけるかな」「自分たちの思いって一体どんなことだろう」

そんな会話をきっかけに、コミセンの利用者の方たちとコミセンスタッフが中心となり、まちについてのみんなの思いを聞いてみようということになりました。どんなまちに住みたいか、どんなものがあつたらいいか、コミセンの文化祭や商店街のお祭りでアンケートを取るといった活動を始めました。

集めたアンケートを集約すると、①みんなが気軽に集まれる場所が欲しい②ごはんが食べられるお店が欲しい③歴史を伝える拠点が必要 という3つの声が多くありました。まちに必要なものは自分たちで作っていこう、それが立ち上げの動機になりました。

### ■出番と役割のある居場所

まちの未来を考える活動を進める中で、まちにはいろいろな人がいることを知ることとなりました。時間も元気もあって活躍の場を求めている高齢者、働きたくても働くことができない若者、子育てに悩む母親、さまざまな出会いがありました。どんな人でも誰にでも出番のある場所、つながれる場所、そんな居場所がまちには必要だと思うようになりました。

中心となる事業に飲食を考え、地元の製粉工場にうどん作りを習いに行きました。うどんを手作りするには、粉をこねる、生地をまとめる、踏む、伸ばす、切るといった工程があります。この工程の中で、人はそれぞれ得意分野があるということに気づきました。こねるのは得意だけれども踏むのは苦手な人、伸ばすのは苦手だけれども切るのは得意な人。うどん作りは一人一人の得意な力を発揮して協力できる作業で、どんな人にも役割が持てる仕事になると確信して、事業の柱に据えています。



### ■地域の応援をいただいて

このような経緯を経て、いよいよ店づくりが始まりました。コミセンの指定管理者であるワーカーズコープのスタッフたちが、コミセン以外にも地域の居場所をつくろうと動き始めました。思いはあっても一体どんなことができるのか、不安を抱えながら試行錯誤しているときに大きな力になってくれたのが、この思いに賛同してくれた地域の方々です。立ち上げのために必要な資金を出資してくれた方、備品を提供してくれた方、花壇を作ってくれた方、いろいろな協力をいただきました。中でも地域の高齢者から成る篠路チョボラ会には、食器洗いや接客、草刈りや花壇整備、雪かきなどのボランティアスタッフとして、毎日の運営を大きく支えていただいています。

### ■つながる活動

和氣藍々では、現在さまざまな活動を行っています。北区役所や保健センター、篠路まちづくりセンター、介護予防センターなどの協力をいただいて、定期的に開催している三世代交流「あいあいサロン」、認知症介護困りごと相談「語り合いふわふわカフェ」。みんなで集まっておしゃべりを楽しみながら、保健師さんや、介護の専門家に気軽に相談することができます。

地域の有志による「おうち食堂」は、大人 300 円、子ども 100 円で食事を提供する地域食堂です。

メニュー決め、買い出し、調理から後片付けまで、すべてボランティアスタッフの方が運営しています。食事の支度



を楽しそうに手伝う子ども、ボードゲームを楽しむ親子、食事と会話を楽しみながら交流できる場です。

毎月第2土曜日は「夜藍々」と題して、居酒屋の雰囲気での夜の営業を行っています。ひとりで来ても仲間と来ても、おいしいお料理とお酒を飲んでいるうちに初めて会った人と仲良くなれる、そんな雰囲気の居酒屋です。最近では趣味の活動の発表の場として、落語やバンド演奏など、いろい

ろな人たちが集まってくるようになりました。

手作り作家さんたちによるワークショップやマルシェ、アナログなゲームを楽しむボードゲームの会、本好きの仲間が集まる読書会などは、「ここでこんなことをやってみたい」という企画が持ち込まれ実現していったものです。ここはみんなのやりたいことがかなう場所なのです。

### ■まちづくりを考える

和氣藍々は「わきあいあい篠路まちづくりの会」の活動拠点でもあります。自分たちが住み続けたいのはどんなまちなのか、未来の人たちに何を残していくか、市の区画整理事業をきっかけに地域のみんなで話し合いを行っています。「まちあそびカフェ」と題して、地元で長く酒屋を営んでいた

女性の話の聞いたり、篠路駅前の倉庫群の歴史を学んだり、篠路の入植にゆかりのある富山と徳島



の食や文化を知る集いにも、大勢の地域の方が集まりました。2月に篠路駅東口で開催する「しろ紙袋ランタンまつり」もみんなで力を合わせて取り組みます。

### ■これからのこと

どんな人にも誰にでも役割のある場所として、いろいろな取り組みを行ってきました。今年度からは札幌市障がい者協働事業所となり、障がいのある方々と共に働いています。

スタートから間もなく2年になろうとしています。こんな場所があったらいいね、という声から始まった和氣藍々。篠路のまちになくはならない場所になっていけるよう、地域の仲間とともにまちを元気にしていく活動を行っていきます。みなさんぜひ篠路のまちに遊びにいらしてください。

#### ○お問い合わせ

ワーカーズコープ

篠路まちづくりテラス和氣藍々

北区篠路4条9丁目15-10

TEL. 011-788-3146